

科目区分	専門教育科目	授業科目名	教育相談（幼児のカウンセリング理論を含む）			科目コード	26Y405	担当者	小槻 智彩			担当形態	単独
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	2年次	開講学期	春学期	単位数	2	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	幼稚園教諭必修、保育士必修		
授業形態	講義	履修条件					教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目				
実務の経験を有する教員担当科目	該当	実務の経験内容及び科目との関連	公認心理師・臨床発達心理士として自治体の母子保健事業や大学附属心理教育相談室における相談業務に従事した経験に基づき、保育・教育の場における教育相談について授業を行う。					科目に含めることが必要な事項	幼児理解の理論及び方法・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法				

授業の主題	保育・教育の場において子どもや保護者を支援するために必要な基礎的知識ならびにカウンセリングマインドについて学ぶ。	課題等への対応（フィードバックの方法等）	ミニッツペーパーに記入された内容や質問を次の授業内で紹介し、コメントや回答を行う。小テストの解答の解説を授業内に行う。
授業の方法	一部の授業において、相談事例についてのグループディスカッション、相談場面を想定したロールプレイングを行う。また、ICTを活用し、受講生の意見を収集・共有しながら議論を行う。毎回の授業の最後にミニッツペーパーを提出する。	アクティブ・ラーニングの実施方法	一部の授業で、相談事例についてのグループディスカッションや相談場面を想定したロールプレイングを行う。受講生は、毎回の授業の最後にミニッツペーパーを提出する。ICTを活用し、受講生の意見を収集・共有しながら進める。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	教育相談の意義と役割	事前：教育相談に関する用語について調べる。 事後：教育相談の意義と役割について要点をまとめる。	第9回	教育相談の目標の立て方と進め方	事前：保育の場の教育相談の内容として考えられるものをまとめる。 事後：教育相談の目標の立て方と進め方について要点をまとめる。	
第2回	子どもの発達理解と相談・支援	事前：子どもの発達理解と相談・支援の関係について自分の考えをまとめる。 事後：子どもの発達理解と相談・支援について要点をまとめる。	第10回	園内での連携（保育カンファレンス）	事前：園内での連携方法について自分の考えをまとめる。 事後：園内での連携（保育カンファレンス）について要点をまとめる。	
第3回	発達障害・アタッチメント障害・心的外傷後ストレス障害	事前：授業で扱う障害について調べる。 事後：発達障害・アタッチメント障害・心的外傷後ストレス障害について要点をまとめる。	第11回	保育現場におけるコンサルテーション	事前：コンサルテーションについて調べる。 事後：保育現場におけるコンサルテーションについて要点をまとめる。	
第4回	発達検査・知能検査	事前：発達検査・知能検査に関する用語について調べる。 事後：発達検査・知能検査について要点をまとめる。	第12回	家庭・地域・専門機関との連携	事前：家庭・地域・専門機関との連携について自分の考えをまとめる。 事後：家庭・地域・専門機関との連携について要点をまとめる。	
第5回	支援のアプローチ方法	事前：支援のアプローチ方法に関する用語について調べる。 事後：支援のアプローチ方法について要点をまとめる。	第13回	事例の検討（1）：子どもと保護者への対応	事前：子どもと保護者への対応に関する事例を検討し考えをまとめる。 事後：子どもと保護者への対応に関する事例について検討したことをまとめる。	
第6回	幼児が示す問題行動・不適応行動の捉え方	事前：幼児が示す問題行動・不適応行動の捉え方について考えをまとめる。 事後：幼児が示す問題行動・不適応行動の捉え方について要点をまとめる。	第14回	事例の検討（2）：保護者からの相談	事前：保護者からの相談に関する事例を検討し自分の考えをまとめる。 事後：保護者からの相談に関する事例について検討したことをまとめる。	
第7回	保育の場におけるカウンセリングマインド	事前：保育の場における保育者の姿勢について自分の考えをまとめる。 事後：保育の場におけるカウンセリングマインドについて要点をまとめる。	第15回	保育者の専門性と教育相談	事前：保育者が行う教育相談について自分の考えをまとめる。 事後：保育者の専門性と教育相談について要点をまとめる。	
第8回	カウンセリングの基礎知識	事前：カウンセリングに関する用語について調べる。 事後：カウンセリングについて要点をまとめる。			事前・事後学修時間（分/授業1回）	180分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	こどもまんなか社会に活かす「子ども家庭支援の心理学」/立花直樹・津田尚子/晃洋書房	受講生へのメッセージ	保育者には子どもや保護者からの相談を受けるという役割も求められます。子どもや保護者を支援するために必要な基礎的知識ならびに基本的姿勢について学びましょう。
参考書 [書名/著者名/出版社]	新時代の保育双書 子どもの理解と保育・教育相談 [第2版]/小田 豊・秋田 喜代美/株式会社みらい、新しい保育講座3 子ども理解と援助/高嶋景子・砂上史子/ミネルヴァ書房、こどもまんなか社会に活かす「子ども家庭支援の心理学」/立花直樹・津田尚子/晃洋書房		

